

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	C型肝炎に対するDAA治療後の肝発がん予測におけるM2BPGiの有用性を検討する多施設共同観察研究
	研究目的	肝細胞をはじめとする細胞接着に参与するMac-2 Binding Protein (M2BP)の糖鎖構造が、肝繊維化の進行に伴って変化することが報告され、肝繊維化の鋭敏な指標として保険収載された(M2BPGi)。一方で、肝繊維化は、肝発がん率と関連することが知られている。本研究では、2015年以降C型肝炎に対する抗ウイルス治療を受けた患者における、治療前後で測定されたM2BPGiを用いて、肝発がんの予知因子としての有用性を検討する。
	研究期間	西暦 2019年 10月 11日 ~ 西暦 2025年 11月 30日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	森本 学
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器内科肝胆膵
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	湘南東部総合病院 肝臓病センター(市田隆文) 川崎市立多摩病院 消化器・肝臓内科(鈴木通博) 聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科(松本伸行) 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 消化器・肝臓内科(松本伸行) 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター(野崎昭人) 北里大学医学部 消化器内科学(日高 央) 湘南藤沢徳洲会病院 肝胆膵消化器病センター(賀古 眞) 秦野赤十字病院 消化器内科(田中克明) 神奈川県立がんセンター 消化器内科肝胆膵(森本 学)